

鹿児島流

熱いハートの医師 育てます



おはら祭(鹿児島市) 写真協力：観光かごしま大キャンペーン推進協議会

私の臨床研修医時代

今村総合病院 院長 帆北 修一

出身校 甲南高等学校 ▶ 岩手医科大学

1982年(昭和57年)に鹿児島大学第一外科に入局しました。学生時代から胃癌外科を志しておりましたので迷いはありませんでした。グループ別の主治医団に配属され、3月ごとにグループが変わりましたのでいくつかの疾患を経験しました。最初は、上級医がそつなく仕事をこなしてくれるので、なんとなく毎日を過ごしておりましたが、少しずつ仕事を覚えると当然のことではありますが忙しくなります。月曜日の朝1週間分の着替えを持って大学病院に行き、土曜日の夜かろうじて自宅へ帰り、日曜日も月曜日の術前カンファの準備をするという生活にだんだんと慣れていきました。先輩達は後輩を非常に大切にしてくれました。西満正教授の回診やカンファが記憶に残っております。手術手技を学ぶには若すぎましたが、先輩方を通して西教授の外科治療の気風を学ぶことができたと思います。一日中一緒に生活するのが外科ですので、実践・耳学問で非常に多くのことを先輩達から教えていただきました。研修医時代はただただひたすら先輩の後をくっついていく生活をしていたように思います。若い皆さんには、夢・希望・時間があり多くの仲間・先輩がいます。有意義な日々を過ごして下さい。



出身地 鹿児島県

指導医の思い出



出身地 阿久根市

ま みつか かつろう
馬見塚 勝郎

出身校 玉龍高等学校▶鹿児島大学

勤務先▶鹿児島市医師会病院

平成3年に故朝倉哲彦先生門下の脳神経外科に入局しました。メスの使い方一つ分からず、先輩の指導の下で恐る恐る頭皮を切開したことを覚えています。剃毛した頭皮は思いのほか固く、指導医が止血を手伝ってくださって何とか切開ができました。外科手術の基本は先輩の指導で覚えるしかありません。朝倉教授の回診前夜は同期の先生たちと毎週、夜中までカルテやレントゲンフィルムの整理をしていました。大病院では脳腫瘍の長い時間の手術が終わり、深夜の医局に戻って先輩方と食事をする中で色々な話ができて勉強になったものでした。今は緩和医療をしています。脳外科で先輩方から受けた指導は今でも役に立っていると感じています。



出身地 南九州市

おおはし たもつ
大橋 保

出身校 甲南高等学校▶鹿児島大学

勤務先▶県立薩南病院

私は昭和56年に鹿児島大学を卒業しました。当時は即入局の時代で、第2内科へ入局しました。当時の2内科は入局2年目に研究室へ配属となり、各グループで研修していました。私は腎グループに入りましたが、透析患者で二次性副甲状腺機能亢進症のため上顎骨が口腔内に突出してきている方が2人おられ、その症例を学会で発表するように言われました。2人の患者さんは、いずれも透析施設を数カ所移っておられましたので、CaやP、副甲状腺ホルモンなどの検査データを調べるために指導医の先生の後について行き、あちこちの施設へ伺い、データをいただきました。当時はパソコンもなく、ましてやインターネットなどできない時代でした。病歴や検査結果、グラフなど学会発表のスライド原稿も自分で手書きで作り、発表が無事終わった時、ホッとしたのが懐かしい思い出です。



出身地 鹿児島市

ひさどめ みつひろ
久留 光博

出身校 ラ・サール高等学校▶鹿児島大学

勤務先▶今給黎総合病院

私は平成18年に鹿児島大学研修コースで研修しました。研修医時代の経験やお世話になった先生方との関わりは今でも診療の中で役立っています。研修医時代は多忙な時もありましたが、その先に見えたものもあり今の自分の基礎になっています。色々ありましたが、緊急手術後の深夜23時に、Hbが5台と報告された電話口で指導医が5-6回「Hb 5! ? 5! ?」と喫驚したあとに輸血、IVRの手配など矢継ぎ早に指示、対応され、患者さんの心理ケアも行ったうえで無事退院に至ったときの事は貴重な経験でした。他にも下甕島の手打診療所での瀬戸上先生の下での診療、透析対応、全身麻酔下手術、本土への搬送、お看取りなどの経験も思い出深いものです。あの時の自分のように何かしら研修医に残るものがあればと指導する立場になり思うところです。



出身地 鹿児島市

はなむれ ゆたか
花牟禮 豊

出身校 鶴丸高等学校▶鹿児島大学

勤務先▶鹿児島市立病院

即入局の時代でした。赴任されたばかりの大山勝教授に魅せられて鹿児島大学耳鼻咽喉科に入局しました。特に耳鼻咽喉科に興味があったわけでも無く、私が現在専門としている頭頸部癌を志望したわけでも無く、大山教授に惹かれて、今で言うメンターですね。入局後はすべてが新鮮ですべてを吸収しようと貪欲でした。夕方以降も当直の先生に付いて急患を待ち構えていたり、指導医の話がすべて貴重な情報であり、そのまま天文館に流れていったりしました。初めの患者さんは鼻副鼻腔乳頭腫の方で、手術は当然指導医が行いましたが非常に印象に残る方でした。その20年後に腫瘍再発があり私を頼って鹿児島市立病院を受診された時は感激しました。目の前の患者さんに真摯に向き合い責任を持ち、治療を担当するうちに自然に手術に興味を持ち、頭頸部癌に興味を持つ様になりました。今を真剣に生きることで道が開けると感じます。

研修医の声



まつおか みかほ
松岡 美カ帆

出身校 桐蔭学園高等学校 ▶ 東京女子医科大

研修先 ▶ 大隅鹿屋病院

私は、神奈川出身で、鹿児島は生まれて初めて訪れた場所でした。

鹿児島に来るときは不安も大きかったです。しかし、大隅鹿屋病院を見学させていただいて、迷わずに研修病院として選びました。それは、大隅半島唯一の研修指定病院で陸の孤島ともいえるこちらの病院でしたら、一戦力として先輩医師と医療の最前線に立てると思ったことが大きいです。

毎日、病院のスタッフの方々の温かさに触れながら、医師として、技術・知識、時には人間性も学んでいます。忙しい研修生活、大事なものを見失わず、充実した日々を過ごしていけるよう日々努力を重ねて参りたいと思います。

出身地 神奈川県川崎市

離島での生活の
スタートに買いました



出身地 鹿児島市

たけざき ゆうすけ
嶽崎 佑介

出身校 鶴丸高等学校 ▶ 鹿児島大学

研修先 ▶ 総合病院 鹿児島生協病院

初期研修が始まり早くも1年が過ぎました。1年目は鹿児島生協病院を中心に内科、外科、小児科と様々な分野の診療科をローテーションしそれぞれの視点で基礎を学ぶことができました。2年目に入ってから協病院の研修が多く普段とは違った環境で刺激の多い研修生活を送ることができました。地域医療研修は奄美と徳之島で行い、老健施設見学や訪問診察同行で患者の生活背景まで考える離島医療を学び、離島生活も満喫しました。当直研修は1年目の後半からスタートし、当初初めて見る症例に戸惑うことも多かったです。自分で診断から治療まで考えることができるいい経験だと思います。初期研修は今しか学べないことも多く、今後の進路を左右する大事な期間だと思います。まだまだ学びたいことが多く時間はいくらあっても足りませんがこれからも1日1日を大切に目の前の患者さんに向き合っていきたいと思っています。

のぐち なつみ
野口 夏末

出身校 宮崎大宮高等学校 ▶ 鹿児島大学

研修先 ▶ 霧島市立医師会医療センター

私が今いる霧島市は山々に囲まれた自然豊かな場所です。風で葉っぱが擦れる音や虫のさえずりが心地よく聞こえてきます。そしてこの中核病院が霧島市立医師会医療センターです。早いものでこちらの研修医生活も1年半が過ぎました。ここではそれぞれが強い意志を持ち、医師・看護師を始めとしたスタッフさんが熱く仕事をしています。疾患や治療のことはもちろんですが、その他多くのことを学ばせていただきました。色々な方に出会い、色々な考え方を知り、他人のこと、自分のことをよく考えた時間でした。初期研修をした病院や出会いは、間違いなく、各々の原点になり人生に影響を与えると感じます。いつかまた成長した姿をお見せできるよう、これからも日々を充実させ、精進してまいります。

出身地 宮崎県

やました さきこ
山下 紗貴子

出身校 池田学園池田高等学校 ▶ 久留米大学

研修先 ▶ 南風病院

右も左も分からない状態から、医師として働き始め、あっという間に早半年。

入職時に、「質問できるのは、研修医のうちだから、分からないことはほとんど何でも聞き、紙の勉強よりも現場で学ぶこと」の大切さ、ある先生から教えていただき、自分が研修した科に関わらず、全ての先生、病院スタッフの方、患者様より、多くのことを日々学ばせていただいています。私は、これならできる、これはできないという風に、頭で先に考えてしまいがちですが、指導医の先生方の手厚いサポートの元に、恐れず実践する中で、研修医のうちにはできない経験や失敗から、たくさんの知識を得ることができている今の環境に感謝です。実際の現場に立つと、病に苦しむ患者様を前にして、自分の無力さに悩むことばかりですが、これからも、少しでも患者様の心に寄り添える医療を提供出来るように、今後も精進してまいりたいと思います。

出身地 鹿児島県

ト

TOPICS

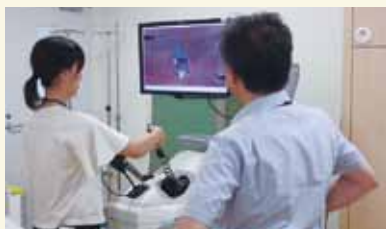
ピ ッ ク ス



臨床研修病院見学ツアー&第2回臨床研修病院合同説明会を開催しました

8月8日から9日にかけて、県内外の医学生を対象とした臨床研修病院見学ツアー及び第2回臨床研修病院合同説明会を開催しました。

見学ツアーには17名の医学生が参加し、4つのコースに分かれて県内の基幹型臨床研修病院を見学しました。指導医・研修医からの概要説明や施設見学、シミュレーター体験などがあり、参加者からは、「ツアーに参加しなければ見学する機会がなかった病院もあり、視野が広がり、選択肢も増えた」「3病院を見ることができるのは県外生にとって非常に効率が良いと思った。」などの声が寄せられました。



シミュレーター体験ができる病院も！



施設見学も見応え十分です。

翌日の合同説明会には19名の医学生が参加し、県内で研修中の臨床研修医3名が「研修病院の選び方」について発表や質疑応答を行った後、県内11の臨床研修病院が、個別ブースを設けて医学生の相談等に応じました。また、その後に行われた情報交換会では、医学生と研修医・指導医などが和やかに交流していました。



合同説明会では研修医から研修病院の選び方について発表がありました。



情報交換会ではざっくばらんに研修医・指導医と話せます。

県外医学生等出前セミナーを開催しています！！

当協議会では、県内の研修医や指導医が、県外医学生の住むまちに伺い、県内の最新の研修プログラムについて説明したり、病院見学や、臨床研修のこと、鹿児島での生活についてなど、医学生からの質問についてお答えする「県外医学生等出前セミナー」を開催しています。

このセミナーは医学生からの要望に応じて、随時、無料で開催しております。

県外にいながら、研修医や指導医の生の声を直接聞くことができるため、参加者からは好評をいただいております。

お一人でも、ご友人と一緒にでも大歓迎ですので、興味のある方はぜひ当協議会事務局までご連絡ください。

E-MAIL : iryokaikaku-ishikakuho@pref.kagoshima.lg.jp

TEL : 099-286-2581



イベントライブラリ ♪♪協議会のイベント情報♪♪

現在、協議会で予定しているイベントの開催・参加情報は次のとおりです。詳細は、事務局までお問い合わせください。多数のご参加をお待ちしています♪

○第19回鹿児島県臨床研修医合同研修会

(日時: 令和元年10月26日(土) 13:30~16:50(予定)、場所: 鹿児島県医師会館)

○eレジフェア2019 西日本

(日程: 令和元年10月13日(日)、場所: 西日本総合展示場(福岡県北九州市小倉))

○出前セミナー随時開催中

(鹿児島の臨床研修の魅力や研修医の身近な話まで聞くことができます!お気軽に御連絡ください)

鹿児島県初期臨床研修連絡協議会 (事務局: 鹿児島県庁 暮らし保健福祉部 医療人材確保対策室内)

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1

e-mail iryokaikaku-ishikakuho@pref.kagoshima.lg.jp

TEL 099-286-2581 FAX 099-286-5552

<http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/doctorbank/kyougikai/index.html>